

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:6年1月30日

事業所名:カレーサイズ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	危険個所が無いよう、クッションなどでカバーしたり、スピードを出して走れないように、家具などを配置、指導訓練場所の十分な確保と安全の両立を図っている。	はい 5 どちらともいえない 3 いいえ 0 わからない 3	療育室を学習と活動スペース、その他の場所に区画を作り、効率よく限られた場所を使う。参観日などを設けて、保護者にも参加してもらえるように工夫する。
	2 職員の適切な配置	現状では適材適所の人員配置が完成しているとは、言い難いので、職員を利用人数に合わせて余分に配置している。	はい 4 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 7	出来るだけ、利用者の特性や目的に合わせた効率的な適材適所の人員配置を行い、支援計画に沿った療育はもとより、事故、忘れ物など無いようにする。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	本人に必要な情報を視野に入るように配置したり、特性に合わせた伝達方法は工夫している。室内は全てバリアフリー化している。おもちゃや個人ロッカーなども本人の手が届く	はい 8 どちらともいえない 2 いいえ 0 わからない 1	子供の成長に合わせた、個から集団活動へ誘うように意識している。またそれらが効率よく行えるような配置などを徐々にではあるが改善していつている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の片付け、清掃、消毒は欠かさない。消毒液は、無味無臭で飲んでも安全な物を使用している。清潔を保っている。	はい 9 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 2	大型の遊具は除き、準備と片付けを子供たちが進んで出来るような指導を療育に取り入れたいと考えている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	終業後にその日あったことの振り返りをする時間を設けた。その中で出た問題点や良かった点などを出し合い、次につなげてきろくにとっている。		記録したもものから、より良い療育につなげるようにしたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実行できていない。		外部評価につながる第三者に該当する人物または団体などにつながりがない。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	週2回のミーティングは実施している。		放課後等デイサービスに特化した研修をしたいと思っている。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	はい○ どちらともいえない いいえ わからない		アセスメントシートから知り得ることには限界があると感じている。個別支援計画作成時にどの程度内容を絞り込むことに悩んでいる。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	はい○ どちらともいえない いいえ わからない	はい 24 どちらともいえない 3 いいえ 3 わからない 3	個別行動より集団行動を重視し、それによって起こるコミュニケーションの中で相手を思いやる心を育てたいと思っている。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	はい○ どちらともいえない いいえ わからない		保護者に詳しく説明を加えて、納得してもらっただけでなく、家庭でできることを協力してもらい、総合的な底上げを図りたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	午前中にその日の療育についての打ち合わせを行っている。	はい 8 どちらともいえない 2 いいえ 0 わからない 1	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援を行うために、療育スタッフが計画の作成から関わっている。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	午前中に活動プログラムの立案を行い、協議を重ねて、実行するかしないかを決めている。		各曜日に特徴がある為、それぞれに合ったプログラム作りを心掛けている。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	利用者に合わせた支援をしている。支援計画に基づいた、計画的な支援策を打ち合わせしている。	はい 9 どちらともいえない 1 いいえ わからない 1	平日、休日、長期休暇などは利用者数や時間に変化があるので、それぞれ別に対応策を協議し出来るだけ細やかな療育につながるようにしていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	プログラムが固定してしまうと、子どもたちが飽きるので、毎日違ったプログラムを用意している。		イベントなどのサービスを入れたいと思っている。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	午前中にその日の療育についての打ち合わせを行っている。		今後も続けていきたいと考えている。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	振り返りとして、記録として残している。閲覧を自由にできるようにしている。		今後も続けていきたいと考えている。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	振り返りとして、記録として残している。不定期に支援の検証・改善の継続実施のため話し合いをしている。		今後も続けていきたいと考えている。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	閲覧を自由にできるようにしている。		今後も続けていきたいと考えている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画			今後も続けていきたいと考えている。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	情報共有ができていない		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	今のところ卒業生がいない		当事業所では前例がない
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	現状では出来ていない。		機関支援センターの研修やミーティングに参加している。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流は行っていない、時間がないといえれば言い訳になるが、学童から通ってきている子供が複数いる。	はい 2 どちらともいえない 3 いいえ 0 わからない 5	平日の開催は時間的な制約があるので、難しいと考えている。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現状では出来ていない。	はい どちらともいえない いいえ わからない	今後、開催を予定している。 準備段階である。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	十分とは言えないと考えている	はい 8 どちらともいえない 2 いいえ 1 わからない 0	保護者との関係を密にしたいと考えている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	十分とは言えないと考えている	はい 8 どちらともいえない 1 いいえ 2 わからない 0	充実させていこうにしたい。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現状は行っていない	はい 3 どちらともいえない 3 いいえ 2 わからない 3	今後専門家を交えて実施していく予定。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	十分とは言えないと考えている	はい 9 どちらともいえない 2 いいえ 0 わからない 0	今後改善していきたいと考えている。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	十分とは言えないと考えている	はい 8 どちらともいえない 3 いいえ 0 わからない 0	今後改善していきたいと考えている。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	十分とは言えないと考えている	はい 4 どちらともいえない 3 いいえ 3 わからない 4	今後改善していきたいと考えている。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	はい	はい 5 どちらともいえない 2 いいえ 0 わからない 4	マニュアルを整備して、職員に周知している。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	はい	はい 7 どちらともいえない 4 いいえ 0 わからない 0	今後改善していきたいと考えている。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	十分とは言えないと考えている	はい 9 どちらともいえない 1 いいえ 1 わからない	今後改善していきたいと考えている。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	はい	はい 10 どちらともいえない 1 いいえ わからない	今後も続けていきたいと考えている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	企業内では何がそれにあたるのか、その時の対処法などを会議を通じて行っている。またそれを職員でシェアできるようにファイルを作っている。	はい 7 どちらともいえない 0 いいえ 1 わからない 4	今後も続けていきたいと考えている。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	不定期に行っている。	はい 5 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 6	今後も続けていきたいと考えている。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	事例がない。 企業内では何がそれにあたるのか、その時の対処法などを会議を通じて行っている。またそれを職員でシェアできるようにファイルを作っている。		今後も続けていきたいと考えている。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	事例がない。 企業内では何がそれにあたるのか、その時の対処法などを会議を通じて行っている。またそれを職員でシェアできるようにファイルを作っている。		今後も続けていきたいと考えている。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書があれば、そのように従っている。 保護者と確認している。		今後も続けていきたいと考えている。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットなどの事例は記録に残し、職員に対して自由に閲覧できるようにしている。 企業内で研修をして、防止に努めている。		今後も続けていきたいと考えている。